

ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式										
E142K015	舞踊概論 (Introduction to Dance)																
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員											
選択	2	3	教育学部			氏名 田端真弓 E-mail 内線											
授業の概要	舞踊の発生、意味や形式を踏まえた上で、舞踊の背景を身体運動文化論的視点等から学習する。さらにそれらを通して、体育授業におけるダンスの位置づけやその指導方法について考えていく。																
具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1	舞踊の特性と意味について理解する。																
目標2	地域や民族の踊りについて理解する。																
目標3	舞踊とその背景の関連性について説明することができる。																
目標4	舞踊の視点から体育授業におけるダンスの位置づけやその指導法を説明することができる。																
目標5																	
目標6																	
目標7																	
目標8																	
目標9																	
目標10																	
授業の内容																	
1	舞踊とは何か?																
2	舞踊の特性																
3	舞踊の意味と価値																
4	舞踊の表現形式																
5	身体の動きと舞踊・ダンス(1)																
6	身体の動きと舞踊・ダンス(2)																
7	民族と舞踊 日本(稽古論)																
8	民族と舞踊 日本(芸道・道)																
9	民族と舞踊 日本(美)																
10	民族と舞踊 外国(1)																
11	民族と舞踊 外国(2)																
12	舞踊と学校教育																
13	女子教育とダンス																
14	舞踊から見た体育・運動教材とその指導法																
15	鑑賞																
ラーニング	A:知識の定着・確認	民族と踊りに関する文献についてまとめる。					工夫 その他										
ニテ	B:意見の表現・交換	視聴を通して作品の意図や動き、形式を読み取る。															
ンイ	C:応用志向																
グ	D:知識の活用・創造																
時間外学習の内容と時間の目安	準備 学修	各授業についての自らの考えを予めまとめてくる。(1h)															
	事後 学修	毎時の学習内容をまとめる。(1h)															
教科書	教科書は指定しない。																
参考書	舞踊教育研究会編、『舞踊学講義』、大修館書店、平成3年																
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10					
	小レポート	60%															
	最終レポート	40%															
注意事項																	
備考																	
リンク	URL																